

岩手県印刷工業組合

岩手の印刷

第85号／令和元年9月17日
発行所／岩手県印刷工業組合
〒020-0122
岩手県盛岡市みたけ5丁目17-10
TEL.019-641-4483
FAX.019-641-6103
E-mail kumiai@iwate-print.net
URL <http://www.iwate-print.net/>
発行人／斎藤 誠

vol. **85**
2019. 9

(ホームページ上でも閲覧できます)

CONTENTS

令和元年	
岩手県印刷工業組合通常総会	2
平成30年度事業報告	3
令和元年度事業計画	4
令和元年度	
上期東北地区印刷協議会	5
トピックス	13



八幡平の紅葉(八幡平市)

令和元年度 岩手県印刷工業組合通常総会

岩手県印刷工業組合は5月17日（金）13時よりホテル紫苑において、令和元年度通常総会を開催しました。出席者44名（本人出席23名・委任状出席21名）。議事に先立ち、議長に阿部光悦氏（六三ビジネスフォーム㈱）が選出され、提出された6つの議案はすべて原案通り承認、可決されました。



提出議案

- 第1号議案 平成30年度事業報告並びに決算書類の承認の件
- 第2号議案 令和元年度賦課金の額および徴収方法決定の件
- 第3号議案 令和元年度事業計画および収支予算決定の件
- 第4号議案 令和元年度取引金融機関決定の件

株式会社岩手銀行、株式会社商工組合中央金庫と取引することの決定を求む。

- 第5号議案 令和元年度借入金の最高限度額決定の件
一金5,000,000円と決定を求む。

ただし、この決議は次期通常総会まで有効とする。

- 第6号議案 令和元年度新規加入者の加入金額決定の件
一金10,000円と決定を求む。



印刷業界のための事業承継・M&Aセミナー

総会終了後、14時30分より「印刷業界のための事業承継・M&Aセミナー」（全日本印刷工業組合連合会組合支援セミナー）を開催しました。講師に山田コンサルティンググループ株式会社 郡山事業所 所長・深澤博隆氏をお招きしました。組合員と印刷関連業者42名が参加し、熱心に聴講されました。

【講師プロフィール】

講師 ふかさわ ひろたか 深澤 博隆 氏 山田コンサルティンググループ株式会社郡山事業所 所長

- ・専門分野 事業承継、組織再編、M&A
- ・経歴等 公認会計士・税理士、中小企業診断士
中堅中小企業の事業承継、組織再編、
M&Aコンサルティングに従事。
企業オーナー向け、金融機関向けセミナー講師等、多数実施。
郡山事業所開設に伴い、2018年4月に
事業所所長として赴任（福島県在住）。



平成 30 年度事業報告

■事業活動の概況

平成 30 年度は米朝の首脳会談の結果、危機的状況は回避され、わが国経済は雇用・所得環境の着実な改善を背景に個人消費の持ち直しの動きが続き、全体として緩やかな回復基調が続きました。

県内経済につきましては、震災から 9 年目になり、いろいろ復興してきておりますが、沿岸の生活や企業活動はまだまだこれからであります。内陸の企業における人手不足の影響が懸念され、個人消費も底堅く維持しているなど、緩やかな回復基調が続いています。しかしながら、東北の中小企業においては、前年に引き続き「緩やかな回復基調の実感」が伴わない状況であります。

一方で、業界の構造変化は一段と進展し、印刷業界は昨年以上に厳しい環境が続いている中、年明けから印刷用紙の値上げが強行され、用紙の調達、再生紙の生産中止などの影響でますます厳しい状況であります。

このような環境の中、岩手県印刷工業組合は全印工連から提供される情報や県の現状を踏まえ、組合員にとって役に立つ情報の提供に今期も務めてまいりました。

5 月の総会では「知らなかったでは済まされない労働法と労働基準法改正案セミナー」を開催し、「各社の働き方改革の対応」への情報を学んでいただき、8 月には業態変革に取り組み、「新たな経営をされている会社社長のセミナー」を開催して、各社の業態変革に役立つ情報を提供しました。1 月の「地域活性ビジネスの取り組み方と各地の事例セミナー」は組合員の新たな取り組みに役立ててもらいました。また、印刷業の CSR の一つである MUD の勉強会を 3 回実施し、各社での対応の支援をしました。9 月にはソプテックの見学会、10 月には全日本印刷文化典にも多くの組合員が参加し、業界のトレンドを勉強しました。

また、今年も 4 月・7 月・10 月と 3 回の古紙回収を行い、その収益金を岩手県緑化推進委員会へ寄付いたしました。今期の新たな活動である「知的財産権」の財産的価値や

所有権についての認識を改めてもらうために、岩手県庁をはじめ県内 4 つの市へ要望書を提出して理解をいただき、いくらか前進した感触を持つことができました。

財政面においては、出資金の課題に組合員の皆様のご理解をいただき解決でき、4 年連続で単年度の黒字化を図ることができました。

昨年 1 年間、何とか組合活動を推進することができたのも、組合員の皆さまのご理解とご協力の賜物と感謝申し上げます。



■復興計画について

①共同受注事業

復興事業計画推進のため、岩手県 I L C 推進協議会よ



高品質サーマルCTP
MADIATH (CTP-CF30)



水現像CTPプレートセッター
VIOLET DIGIPLATE VDP-CF3070



ダイヤミック株式会社 宮城県仙台市宮城野区宮城野1-11-1ダイヤミックビル3F
仙台支店 ☎022(296)3221

Customer's
Customer
Success

RICOH
imagine. change.

お客様のその先のお客様にまで届く価値を創出する

お客様とともに新しい価値を創造し、
人々の生活の質の向上と持続可能な社会づくりに
積極的に貢献します。

<https://www.ricoh.co.jp> **リコージャパン株式会社 岩手支社**
〒020-0866 岩手県盛岡市本宮3-36-45 Tel:019-631-2211

り I L C の P R 用年賀はがきを受注。受注枚数 28,000 枚

②復興計画について

【印刷技術及び環境問題対策等の研究】

- 「知らなかったでは済まされない労働法と労働基準法改正案」セミナー（平成 30 年 5 月 18 日）41 名
- 「現在困窮・将来有望～変革は、守・破・離～」経営セミナー（平成 30 年 8 月 8 日）46 名
- S O P T E C とうほく 2018 視察（平成 30 年 9 月 26 日）36 名
- 「地域活性化ビジネスの取り組み方と各地の事例」セミナー（平成 31 年 1 月 18 日）51 名

【地域及び社会への貢献】

- 第 23 回古紙回収を実施（平成 30 年 4 月 19 日）32 社 68,560 円

- 第 24 回古紙回収を実施（平成 30 年 7 月 18 日）29 社 41,360 円

- 盛岡市市民育樹祭への参加（平成 30 年 10 月 13 日）5 社 9 名

- 第 25 回古紙回収を実施（平成 30 年 10 月 17 日）25 社 57,880 円

- 古紙回収収益金を岩手県緑化推進委員会へ寄付（平成 30 年 11 月 8 日）100,000 円

【復興へのお手伝いと地域経済の活性化活動】

- 復興関連図書の販売、情報発信（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）売上冊数 32 冊 20,345 円。盛岡市手づくり村に出版物ブースをつくり、復興関連印刷物はもとよりタウン誌・各地域の出版物を展示販売している。

令和元年度事業計画

■基本方針

今年度の世界を取り巻く環境は米中の貿易摩擦、英国の E U 離脱問題、中東の不安定化など、昨年以上に不透明であり、中国経済の減速が鮮明になり、世界経済も混乱し、減速し始めています。4 月に入り、I M F は世界経済の成長率を 3.3% へ下方修正し、日本経済も 1.0% に下方修正されました。

東北では昨年インバウンドが増加し、岩手県の宿泊客も 18 万人になり、今年も上海 - 花巻線の就航が始まって、ますます増加しそうです。また、県南の北上地区には東芝を中心とした誘致企業の増加もあり、I L C はまだまだ時間がかかりそうですが、政府も具体的な検討に入り、今後に期待を持たせる状況です。

印刷業界を取り巻く環境は、今年に入って用紙の値上げ・安定供給への不安・再生紙の生産縮小など、業界としての供給責任を果たせない状況が新たに発生し、10 月には消費税のアップなどもあり、お客さまの用紙離れが加速される不安が生まれてきています。

このような環境の中、全印工連と連携して、組合員の皆さまのお役に立つ組合活動を進めて行く所存です。そのため、今年も下記の取り組みを進めていきたいと考えています。

- (1) 全印工連と連携した「知的財産権」の官公庁への理解促進の要望の継続
- (2) 全印工連と連携した「印刷用紙についての課題」についての官公庁への要望
- (3) 組合財政基盤の充実への取り組み
- (4) 若手組合員の育成
- (5) 業態変革に役立つ各種情報提供

- (6) 地域社会に貢献できる M U D の啓蒙と実践（M U D 委員会）

- (7) 組合員に役立つ「印刷営業士」資格試験の実施

- (8) 復興 4 事業の継続実施など。これらの事業推進には、これまで以上の組合員の皆さまのご理解とご協力がますます必要となりますので、今年度もよろしくお願いいたします。

■復興計画について

令和元年度は前年度に引き続き、復興計画 4 事業を推進します。

- (1) グループとしての共同受注への取り組み状況

- ①「I L C の年賀はがき」の共同受注を今年度も実施する。

- ②その他各種団体からの受注

- (2) 印刷技術及び環境問題対策等の研究

- ①「印刷業界のための事業承継セミナー」（令和元年 5 月 17 日）

- ②印刷営業講座（令和元年 10 月）をはじめとして、組合員にとって価値あるセミナーや見学会を実施して行く。

- (3) 地域及び社会への貢献

- ①昨年同様、古紙回収事業は社会的評価が高いため、今年度も 3 回実施する。

- (4) 復興へのお手伝いと地域経済の活性化活動

- ①復興関連図書の販売、情報発信

前年同様、組合員の皆さまへ協力を呼びかけ、書籍などをより一層充実させて行く。

令和元年度 上期東北地区印刷協議会

- ◆開催日時 令和元年6月19日(水) 13:30～
 ◆開催場所 青森県八戸市「グランドサンピア八戸」
 ◆参加者 東北六県役員・来賓その他74名(会議)
 東北六県役員・来賓その他94名(懇親会)

I. 全体会議

針生英一 東北地区協会長 挨拶(要旨)

昨夜(6月18日)新潟・山形県沖でかなり強い地震が発生しました。携帯の警報音が鳴り響き、8年前の東日本大災害の記憶が生々しく蘇りました。BCPなど普段からの危機対処の必要性を改めて感じました。

この地区協議会開催地である八戸は公・私用で何度も訪れている街です。日本最大級の朝市、風光明媚な種差海岸、そして東日本大震災後に街の復興のひとつとして、「八戸ブイヤベースフェスタ」があります。毎年2月・3月に市内ホテル・レストラン等で地元産魚介類4種類以上を煮込んだブイヤベースを楽しむことができます。このように、八戸は魅力ある地域資源がある街であると感じております。

さて、昨年に全印工連ではブランドアイデンティティとして幸せな働き方改革「Happy Industry 人々の暮らしを彩り幸せを創る印刷産業」を掲げました。それまでは、業態変革実践、ソリューション・プロバイダーへの進化、印刷道、2025計画新しい印刷産業へのリデザイン等のロードマップが示されてきました。私の個人的見解ですが、明日への希望が持てる、お客様から支持され社会にとって不可欠な存在とされる印刷業であるべきであり、そのためには、日々多くの課題を解決し、困難を乗り越えて、絶えず業態変革をし続けて行くことが大切であると認識しています。

印刷産業は元々多くのポテンシャルを持っています。これらを具現化し、如何に活路を見出すことが出来るかが問われていると思います。お客様から、地域から支持されながら企業継続に必要な一定の収益を計上されている印刷会社が、私たち仲間にも多くいます。

少子高齢化や人口減少に向かうこの時代において、どの業界も楽なことはありません。生き残り、明日への夢を抱ける業界とするためにも、私たちの持つ多くのポテンシャルを活かす努力こそ、必要であると思います。

さて、第16回となるSOPTECとうほく2019は7月5日(金)、6日(土)例年通り仙台卸商センター「サンフェスタ」で開催します。出展会社63社、ソリューションセミナー25講座の構成となっています。多くの経営に関するヒントが得られる場であり、経営層向けそして実務的講座も用意しており、社員の方々を含めて多数ご来場いただけるよう働きかけ願います。

また、12月には今回で20回を迎えるデザイングランプリTOHOKUを開催します。一般・学生・高校の3部門からなり、近年は東北地区以外からの出品も見られ、応募総数は500点

を超えています。作品レベルも年々向上しており、入賞に至るにはなかなか大変ですが、社員の方々のレベルを客観的に見る良い機会です。ぜひ積極的に応募願います。

次に、本日「全印政連加入の手引き」が配布されておりますが、私たち業界の政策的課題を国政に反映させることを目的としています。この政治連盟へ会員として多数ご加入いただくことを期待しています。

本日の協議会が参加者各位にとって実りあるものとなることを祈念し挨拶とします。

滝澤光正 全印工連副会長 挨拶(要旨)

令和に入り、大きな行事が予定されています。今月のG20大阪サミットに始まり、7月の参議院議員選挙、秋のラグビーワールドカップ、そして10月には消費増税の実施、加えて来年は東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。また、イラン情勢により原油価格の上昇懸念があり、国内外の情勢に一つ一つ注視しなければなりません。

さて、全印工連では「Happy Industry 人々の暮らしを彩り、幸せを創る印刷産業」をブランドアイデンティティとして掲げています。この中心事業として、幸せな働き方改革ステップ4、ステップ5の完成を目指し準備しており、本日は惟村常務理事、幸せな働き方改革プロジェクトチームの副委員長によるステップ3のおさらいがあります。夢のある魅力に富む印刷産業の構築を目指し、実現することを切に願っています。

地区印刷協議会の各委員会運営は、報告・依頼・協議の3つの事項があり、これらに加えて、各項目の数値的目標を設定しています。次の下期地区協議会まで各県工組が達成に向けて尽力いただければと切に願っております。

各県工組ごとに全印工連事業参加に基づく事業メリット一覧を送付しているの、組合脱退防止や新規加入促進のツールとして活用願いたい。

アドビの特別ライセンス事業契約は、11月30日満了となりますが、全印工連とアドビ社で締結し直し12月から新たなものとなり、メリットある価格を示すことができます。ぜひご活用願います。

この地区協議会が実りあるものとなることを祈念し、挨拶いたします。

II. 分科会

理事長会

- 東北地区印刷協議会の平成30年度収支決算並びに令和元年度収支予算案を諮ったところ、異議なく承認された。
- 但し、現状の運営財源を鑑みて次期以降の会費や各事業の予算配分方法等について再検討を要し、令和2年度上期地区協議会理事長会で協議することとした。

2. 今年度の第16回 S O P T E Cとうほく2019は、公式ガイドブックを東北地区全組合員に配布済みであり、25講座のセミナーへの受講、63社の展示エリアへの来場に各工組が積極的に協力的することで一致した。
3. 第20回デザイングランプリ TOHOKUは、その作品募集パンフレットを年度当初には送付しており、各工組の組合員関係者に積極的な応募を働きかけることで一致した。
4. 今年度の下期東北地区印刷協議会は令和2年2月13日（木）仙台市青葉区「パレスへいあん」で開催することを報告し了承された。
5. 組合員減少への歯止めと新規加入促進の方策について、宮城工組の事例を紹介した。各工組では、それぞれ事情を抱えてはいるが、先々の組合基盤確保の観点からもその方策の具体化は、緊急的課題であるとの認識で一致した。全印工連池尻専務理事からは「組合事業メリット一覧表」の活用について説明された。
6. その他の意見交換は下記の通り
 - 全印工連「せつび共済」の加入減少について触れ、事故後の共済掛金変更条件等を含めた共済内容全体の見直しを全印工連に再検討願いたいとの意見があった。
 - 製紙メーカーによる印刷用紙減産の影響から、受注機会があっても納期条件に自信が持てず、受注に至らなかった事例もあるとのこと。印刷用紙の適時円滑確保のため全印工連から関係機関への更なる強力な働きかけを期待したいとの意見があった。

経営革新マーケティング委員会

大場賢二 委員長（山形県）

経営革新マーケティング委員会は大きく分けて5つの事業「事業承継支援事業」、「経営イノベーション事業」、「マーケティング事業」、「全印工連 2025 計画および Happy Industry の普及・啓発」と、今年度より「下請け適正取引の研究」について取り組んでいる。

【報告事項】

1. 経営情報のセミナーを開催（日本印刷会館にて開催）
マーケティングセミナー（2019年5月27日開催 参加者 41名）
カネボウ化粧品社のマーケティング部長を講師に招き、高付加価値ブランディングの手法を学んだ。
東京で開催だが、出張と組み合わせて今後ぜひ参加いただくようお願いした。
2. 勝ち残り合宿ゼミの開催
内容的に数字の読み方や事業計画の作成など濃いものとなっている。昨年は締め切り前に定員数 20 名に対し 21 名の受講生の申し込みがあった。今年度は早めの申し込みをお願いした。

【依頼事項】

1. 事業承継支援事業の周知

（1）事業承継支援センター

まだまだ周知されていない。セミナーを開催し支援センターの必要性を知ることが急務。各県印工組に持ち帰り、セミナー開催の必要性を伝えた。

（2）事業承継ガイドブック

会社のタイプ別に漫画やイラストがふんだんに使われ、分かりやすい。1社に1冊あるべき教科書なので、セミナーに関係なくぜひ購入いただきたい。頒布価格 3,000 円。

（2）事業承継セミナー

これまで東北エリアでセミナーを開催している県がまだ2つしかない。そのうち、岩手県が今年度セミナーⅠを開催している。続いてセミナーⅡを開催しようとしたところ、4名の参加しかなく、単独開催ができない状況にある。今年度のセミナー目標残り1つを達成するべく青森、秋田、福島、宮城県へお願いした。

2. 共創ネットワーク通信への登録推進（64 回配信、紹介記事 81 件 2019.5 現在）

このシステムは自社の強みである製品やサービス、技術などの情報を組合員 4000 社にメルマガ写真入りで配信できるほか、リンクサイトの専用ページにて詳細を PR することができる。新たな展開につながる手段でもあるので、ぜひ登録をお願いしたい。

【協議事項】

1. 事業承継推進における課題について（東北地区数値目標：セミナー2、相談件数3）

東北地区の数値目標が課せられた。セミナー2件（1件は達成済）、相談件数3件。

事業承継は非常にデリケートな問題と各県認識を共にする。それゆえに進めにくい。また、先行きが不透明な上、業績の問題で設備更新等ができず、事業承継をせずにソフトランディングを考えている会社も多々あるようだ。一方、隣県の M & A を絡めた事業承継で成功している同業会社の社長を講師に招き、県印工組でセミナーを開催した。このことで事業承継に興味と感心を持ってもらい、セミナーに結び付けたいとのこと。前回と同じ話になるが、我々は後継者が継ぎたくなくなるような会社を作らなければならない。そのために自社の事業ドメインを問い正しながら経営革新をして「よりよい会社」にすることが急務。ソリューションプロバイダへのステップアップガイドを見直し、ブラッシュアップされたセミナーをぜひ活用いただきたい。

今後についても引き続き、相談しにくい理由を持っている企業でも安心して利用できる『事業承継支援センター』の周知と利用を積極的に促していく必要があると感じた。

2. 共創ネットワーク通信に係るベンダーの配信：20 回

今年度よりベンダー（関連業）の新サービスや最新技術などの情報が配信されることになった。「より良い会

社」作りにぜひ活かしてほしい。

ソーシャルビジネス委員会

本田直子 委員長（宮城県）

【報告事項】

- ・当委員会の活動の流れの確認
- ・本年度のCSR・ダイバーシティ委員会の活動内容については担当委員会が本年度まだ開かれていないので、資料による。

【協議事項】

『幸せな働き方改革』プロジェクトについて

◎参加各県理事から

- ・全大会での「幸せな働き方改革 SEASON 3」の概要説明を聞いた感想、働き方改革に関連した各社の取り組みや意見など
- ・プロジェクトの内容が現時点ではよく分からないが、冊子を見てよく学んでいきたい。
- ・経営計画にも組み入れて取り組んでいくことが重要だと感じている。現在、生産時間と非生産時間を社内でも共有化し、非生産時間の削減に取り組んでいる。
- ・今年からこの委員会に参加しているので、まだよく分からない。
- ・働き方改革を意識し始めたら、社長の自分に負担が増えているのが実態。しかし、ぜひトライしたいと思う。
- ・社員の休日の管理にまず追われている。しっかり勉強していきたい。
- ・残業時間の削減をするということは、単位時間の生産性を上げないと実現できないといつも社員に言っている。業務改善の部分は興味深い。
- ・日報の改善を行うことで、業務改善につながる動きが社内に出てきている。
- ・プロジェクトを各社で遂行していくのにセミナーを実施している工組もあるようだが、ワークブックとセミナーのうまい活用法を詳しく知りたい。

◎全印工連惟村理事から

- ・本プロジェクトは、働き方の法令順守という「守り」の取り組みではなく、全印工連のブランドスローガン「Happy Industry」に沿った、働き方に対して「攻め」の考え方で企業の幸せな姿＝業績拡大を目指している。
- ・直近に作成した SEASON 3 はじめ冊子3冊を全組合員に配布するので、まずは SEASON1 からよく読んでいただきたい。
- ・冊子3冊の主な概要について
SEASON 1：プロジェクトの全体像を把握。
SEASON 2：各社の現状を把握し、目標と計画を設定するためのワークブックになっている。プロジェクトチーム編成の前に、経営者と管理職のリーダークラスのスタッフとで2つの診断ツール、厚生省監修の「快適職場調査(ソフト面)」と「働き方休み方改善ポータルサイト」をやってみると良い。その後、セミナー

を受けて自社に持ち帰り、具体的に社内を進めていくと良いと思う。

SEASON 3：産業能率大学が研究してきた業務改善のノウハウをもとに、印刷業向けに分かりやすくまとめた。これも遂行していくためのセミナーがあるので、各県工組単位で開催してもらえると、より理解しやすいと思う。

【依頼事項】

- ・全組合員にワークブックが配布されるので、本日の参加理事は地元工組に持ち帰り、理事会等の機会をみつけて、本プロジェクトの周知広報活動をしていってもらいたい。

教育研修委員会

たい。

五嶋建二 委員長（秋田県）

【報告事項】

1. 平成 30 年度技能検定プリプレス職種（DTP 作業）合格者数

昨年度、技能検定プリプレス職種DTP作業は20 都府県にて実施され、1 級・2 級合わせて165 名から受検申請があり、71 名が合格した。

平成29 年度に比べると受検申請者数は30 名、合格者数は51 名それぞれ減少しており、技能検定を継続的に実施していくためには、これ以上受検申請者数が減少しないように留意しなければならない。皆様の御協力をお願いいたします。

2. 技能検定プリプレス職種（DTP 作業）の受検料の減額（厚生労働省）

2019 年4 月1 日時点で34 歳以下（1984 年4 月2 日以降に生まれた方）の2 級受検者は9,000 円減額され、実技・学科とも受検の場合は12,000 円に、実技のみ受検の場合は8,900 円となっている。

3. 動画配信コンテンツの拡充

今まで配信したセミナーは主に経営者向けコンテンツが中心となっていたが、今年度は社員向けコンテンツの制作など、新たな動画を配信して組合員のニーズに応えていく予定。デモ版の短編動画を制作したので、本分科会出席の皆さんは視聴していただきたい。

【依頼事項】

1. 組合支援セミナーの周知・啓発

今年度も、㈱あしたのチームによる『“働き方改革”を実現する「あしたの人事評価」セミナー』を企画している。講師料・交通費は無料。少人数でも開催するので、実務的な話が聞ける機会として、工組での開催を検討していただきたい。

また、「技能検定プリプレス職種（DTP 作業）学科試験対策セミナー」も継続開催する。実技試験対策セミナーも早期に開講する計画で調整を行っているので、技能検定プリプレス職種（DTP 作業）を実施予定の工組は開催を検討していただきたい。

2. 印刷営業講座・印刷営業技能審査認定試験の実施

「提案営業・プレゼンテーションの知識」と「マーケティングの知識」の習得に重点を置いた印刷営業講座と、知識試験では単語の記述式問題の導入、技能試験では従来の積算見積課題に加え、提案型営業の課題としてマーケティングに関する記述式問題を導入した印刷営業技能審査認定試験は、2017年のリニューアルから2年目の昨年度、別添資料の通り8工組（試験のみ実施の宮城県工組を含めると9工組）において実施された。今年度は現時点で9工組（試験のみ実施の岐阜県工組を含めると10工組）が実施予定。

※実施予定工組は、可能であれば近隣工組からの受講・受験希望者の受け入れや、他工組から講座の見学希望があれば対応していただきたい。

《参考》令和元年度印刷営業講座・印刷営業技能審査認定試験実施予定

- ①山梨県工組講座 6月12・19・26日、7月3日、試験：7月10日
- ②岡山県工組講座 7月10・11・17・18日、試験：未定
- ③岐阜県工組（試験のみ）試験：9月
- ④山口県工組講座 8月23・24・30・31日、試験：9月
- ⑤東京都工組講座 9月4・6・11・13・24日、試験：10月
- ⑥富山県工組講座 9月20・21・27・28日、試験：10月26日
- ⑦愛知県工組講座 10月4・5・11・12日、試験：未定
- ⑧岩手県工組講座 10月18・19・25・26日、試験：11月2日
- ⑨広島県工組講座 11月22・23・29・30日、試験：未定
- ⑩石川県工組講座 1月24・25・31日、2月1日、試験：未定

3. 技能検定プリプレス職種（DTP作業）資格取得のご案内

全印工連教育研修委員会正副委員長が、技能検定プリプレス職種（DTP作業）資格取得に関する別添資料を作成した。本資料では、自社のDTP業務における収益を高めるためにはDTPスキルの標準化の概念を社内でも共有することが大切であるとし、共有できたら3つのステップでDTPチームの収益性を上げていくことを説明している。

自社のDTP作業の標準化を目的とした技能検定プリプレス職種（DTP作業）試験の受験を積極的にPRいただき、活性化に繋げていただきたい。

4. 全印工連特別ライセンスプログラムの周知・普及

2019年12月1日からの新契約スタートに伴い、新契

約プランの概要が発表された。

新契約では、「コンプライートプラン」と「単体プラン」の2つに集約され、購入条件もアプリケーション1個から購入可能となる。全体的には現行よりも値上げとなるが、法人向けの通常市場価格も従来と比較すると値上げとなっており、新プランにおいても通常市場価格と比較すると価格優位性をもった設定となっている。

今後、パンフレットやテクニカルセミナーで詳細をご案内することとなるので、引き続き組合員への周知・普及に努めていただきたく、皆様よろしく願いいたします。

【協議事項】

1. 全印工連特別ライセンスプログラムライセンス数増加の目標値設定

全印工連特別ライセンスプログラムは2018年12月1日現在、全国で7,301本加入いただいております、前年比807本増だった。

全印工連教育研修委員会では、2019年12月1日現在の全印工連特別ライセンスプログラムの加入本数を、前年比10%増の8,031本に目標を定めている。数値に向けた加入促進活動を行っていただくようお願いいたします。

2. 技能検定プリプレス職種（DTP作業）受検者増加についての意見交換

昨年度の技能検定プリプレス職種（DTP作業）には20工組165名から受検申請があった。すでに実施されている工組においては、来年度も引き続き実施をお願いします。

今年度も、学科試験対策セミナーの開催や、実技・技能試験問題の過去問題を各工組に配付を行うなど、受検者のフォローアップを行う予定である。

今後の検定実施にあたっては、他工組への技能検定委員の派遣や試験・採点の見学を希望される工組もあると思うが、まずは全印工連へ問い合わせるようお願いいたします。全印工連から実施工組へ問い合わせ内容の確認等を行い、適宜対応する体制を整えて行く。

環境労務委員会

木村和生 委員長（青森県）

【報告事項】

1. 時間外労働の上限規制について

中小企業は来年4月1日から施行。時間外労働の上限は原則として月45時間・年360時間となる。臨時的に限度時間を超えて労働させる場合は、36協定に具体的な業務内容も明記して新たに届け出が必要。ただし、限度時間を超える場合でも、時間外労働は年720時間以内、時間外労働と休日労働の合計時間を月100時間未満、2～6カ月平均80時間以内、時間外労働が月45時間超えは年6カ月が限度となり、違反した場合は6カ月以下の懲役または30万円以下の罰金な

ど、罰則が科される。

2. 中小規模事業場安全衛生サポート事業（中災防）の活用について

中央労働安全防止協会では「中小規模事業場安全衛生サポート事業」を無料で実施している。今年度は約1,000件の個別支援、250件の集団支援を予定。

「個別支援」では、専門家が事業場・作業現場等を訪問し、作業現場の安全状態や作業方法の改善等、安全衛生水準の向上のためのアドバイスを実施。

専門家の交通費や中災防から提供されるサービスには一切費用はかからない。

【依頼事項】

1. 環境労務セミナーの周知・開催

環境労務委員会では「知らなかったでは済まされない働き方改革労働法と労働基準法改正セミナー（令和元年度版）」と「中小印刷業のリスクアセスメント対策セミナー」の2つを今年度運営する。「就業規則作成・改定セミナー」は前年度末で終了したが、働き方改革関連法の相次ぐ施行により、就業規則改定の対応へのニーズもあることから、要望があればそのつど対応する。開催を希望される工組は全印工連事務局まで。

2. 環境マネジメントシステム認証・認定制度の普及推進

全印工連では、(1) GP（グリーンプリンティング）認定制度、(2) 環境推進工場登録制度、(3) ISO 14001 取得支援事業（NetEMS）の3つの認証・認定制度の取得支援を行っていることを改めて紹介。企業の経営体質の強化、取引先や消費者へのアピールのためにも、ぜひ各種認証制度にチャレンジしてほしいと依頼した。

3. オフセット印刷工場用VOC警報器の普及・拡大

警報器の使用期限切れ（2年）を迎えている企業には、更新買替の検討を依頼。

【協議事項】

1. 環境マネジメントシステム認証・認定の周知・啓発について

- ・現状では今期GP、環境推進工場取得の予定はなし
- ・こんなメリットがある、どのくらい負担がかかるというのをまとめてほしい
- ・クライアントを取り巻く環境が変わってきている（脱プラ、再生紙）企業姿勢をPRする必要あり
- ・GP認定にチャレンジすることで社員教育に大きく寄与した（維持するのが大変）
- ・環境推進工場を一度更新して、GPに挑戦する予定（次年度以降）
- ・設備のない企業が増えてきている
- ・ISOを返上した経緯がある（コストがかかりすぎるため、現状では自社システム運用中）
- ・必ず儲かる環境対策セミナーが参考になったので、復活を希望

2. オフセット印刷工場用VOC警報器の普及・拡大について

- ・工場が広い？、ほぼ警報が鳴らないのでメリットを感じない（同意見が多数あり）
- ・監督署に対して、しっかり対応していることをPRできた
- ・社員に対して優しい会社であることをPRできた（更新買換を予定）
- ・2年ごとの買換が必要というのが、導入の足かせになっている
- ・普及率について、購入台数ではなく社数データが必要では？更新による買換はカウントアップするのか？

3. 労務関連情報に関する意見交換

- ・タイムアップ（現状では目立った動きはなし）

官公需対策委員会

新沼興隆 委員長（岩手県）

【報告事項】

本年4月～5月に実施した「官公需活動に関するアンケート」調査結果について

全印工連では、平成29年度の中小企業者に関する国等の契約の基本方針に知的財産権の財産的価値の適切な取り扱いが明記されたことを受けて、平成30年12月にパンフレット「大きく変わる知的財産の取り扱い—官公需における知的財産権—」、そして令和に入り「コンテンツバイ・ドール版」を作成し、各工組・全組合員に配布した。

その後、各工組において、都道府県庁に対しどのような活動を行ったか（行う予定であるか）について、①知的財産権②最低制限価格制度③地元優先発注④入札要件⑤行政・議会との関係等についてのアンケート調査を実施し、各工組が官公需対策に取り組む際の参考に供する。

（調査対象は都道府県庁に限定）

○調査時期 平成31年4月～令和元年5月

○提出工組数…47工組

○調査結果

- ・知的財産権についての要望等の活動の有無
活動を行った…33工組（東北地区の全工組含む）
活動を行っていない…14工組
- ・最低制限価格制度の導入状況
導入済…25工組 導入されていない…22工組（東北地区岩手・福島含む）
- ・今後、最低制限価格制度が導入されるよう活動の有無
活動予定有…12工組 活動予定無…9工組
- ・予定価格の積算方法（複数回答）
積算資料や物価資料で積算…20工組 見積ソフトを利用して積算…4工組
前年度実績を参考に予定価格を決めている…23工組
業者からの参考見積により予定価格を決めている…25工組 予定価格の積算は行っていない…2工組 分からない…9工組
- ・地元優先発注の有無
実施されている…32工組 実施されていない…13工組 無記入…1工組

- ・入札における独自の要件の有無
ある…20 工組 ない…24 工組 無記入…3 工組
- ・都道府県議を中心とした議員連盟の有無
議員連盟有…8 工組 議員連盟無…37 工組 無
記入…2 工組

【意見情報交換】

青森県：中小企業団体中央会との連携により知事への表敬訪問において、現況を説明した。また、地元優先発注では、入札参加資格の中に「県内に本店を有する者」と記載されている。

秋田県：平成 29 年度より印刷物の発注仕様書から、著作権が県側に帰属する項目が削除され、PDF 納品についても著作権を守るよう制限された。印刷されているそれぞれの著作物に対して著作権者とその利用規約における許諾事項を県に報告することになった。

岩手県：県中央会の支援を受け、30 年 8 月県出納局にジャグラー支部と合同で要望書提出を行い、その後、盛岡・一関・大船渡・宮古市にも同様に行った。また、12 月にはその結果報告を踏まえて県に対し 2 回目の情報交換を行い、本年 5 月には 3 回目として紙値上げ・入手困難に対する価格値上げや代替品対応の要望書を提出し、知財権と共に今後の継続指導を申し入れ、前向きな理解を得られた。

宮城県：「みやぎの印刷振興を考える議員連盟」(構成 8 名)と連動し、中小印刷産業の経営課題等解決に向けて関係行政機関と調整活動を随時行っている。また、全日本印刷政治連盟の第 22 回通常総会に出席した中村等宮城県副理事長・官公需対策委員長は「まず国が変わらないことには地方は変わらない。組織は数が力。今の組織では情けない。率先して議員と接触し、全員政連に出資をして国を動かそう」と、力強い呼びかけを行った。

山形県：山形県議団 5 名と連動して県側と定期的に意見交換を行い、業界の説明をしており、その積み重ねではば地元発注になっている。しかし、最近では印刷通販を使った低価格競争が見受けられるので、設備確認等を含めた企業視察を要望している。

福島県：県議への要望聴取会に出席し、最低制限価格制度導入等の要望書を提出していきたい。また、予定価格の適正な算出については最新の積算資料に基づいて予算化してほしいと考えている。

*総体的には、現在業界として進めている知財権の財産的価値の適切な取り扱いについて、閣議決定以降の全国的な取り組みを実のあるものにするため、その活動を継続強化していくこと。そのためには印刷政治連盟や各県議員と連動することが必須である。なお、紙値上げ問題については、業界にとって避けられない大きな課題であり、知財権と同様の取り組みが必要である。

組織共済委員会

立花志明 委員長（福島県）

【報告事項】

1. 組合員加入実績工組表彰

平成 30 年度の組合員加入実績表彰の工組は下記の通り。

- 1 年前と比べて組合員数が 4 社以上増加した工組（報奨金 50,000 円）

宮城工組…6 社増

- 1 年前と比べて組合員数が 1 ～ 3 社増加した工組（報奨金 30,000 円）

山梨工組、京都工組、佐賀工組…1 社増

《実績表彰に関する全印工連に対しての要望》

新規加入活動には相当の時間とエネルギーを要しており、報奨金の見直しを要望する。

2. 各種共済制度の加入状況

各制度の加入状況は、全印工連が把握している直近の数値である。

「生命共済制度」（4 月分）

全国レベルでの現在の契約額は、掛金の収納ベースの数字となるが、4 月現在で加入事業所数 1,369 社、加入者数で 15,608 人、加入契約額は 287 億 7,600 万円となっている。1 社でも多くの組合員企業の加入についてご協力願います。

以下は、東北地区の各県の状況についての確認です。

「設備共済制度」（4 月分）

全国の加入状況は 349 社の組合員にご加入いただいている。そのうち、オプションの地震災害コースには 38 社の組合員に加入いただいている。

次に、東北地区の各県の状況について確認しました。

「医療・がん共済」（4 月 1 日現在）

全国の加入状況は、医療補償・がん保障で、延べ計 217 名です。この制度をスタートした時の目標加入者数 500 名に達していないので、制度運営上厳しい状況となっている。更なる加入促進にご協力いただくようお願いします。次は、東北地区の各県の状況についての確認です。

「災害補償共済制度」（3 月分）

全国の加入状況は、「労災補償コース」では、2 タイプ合わせて 95 社、3,388 名の方の加入があり、また「傷害補償コース」では、補償金額により 3 タイプあるが、その合計で 18 社の加入をいただいている。

東北地区の各県の状況についての確認です。

「経営者退職功労金制度」（4 月分）

全国の加入状況は、掛金の収納ベースの数字となるが、57 社、118 名、契約口数は 325 口となっている（1 口 1 万円）。なお、この制度は引受保険会社からの事務手数料収入がないため、特に加入促進を行っていない。東北地区の各県の状況について確認しました。

3. 令和元年度共済キャンペーン重点工組

令和元年度共済加入促進キャンペーンは、例年通り 9 月 1 日から翌年 3 月 31 日までの期間に予定している。対象となる制度も例年と同じく、生命共済、せつび共済、医療・がん共済の 3 制度です。今年度の重点工組は宮城・福島・

埼玉・千葉・山梨・東京・岐阜・石川・京都・大阪・奈良・岡山・山口・徳島・長崎・宮崎の計16工組に決定した。今年度も重点工組を中心に、積極的な加入促進キャンペーンを行っていただきますようお願いします。

4. 組合員台帳調査の回収結果

昨年度実施した同調査の提出率は77.8%で、前回（平成28年度）の71.1%を大きく上回った。ただ、依然として50%を下回る工組もあり、工組によって大きく開きが出た。

次回課題としては、提出率の低い工組の底上げをしていくことが必要かと思われる。

東北地区では全県100%を目指していたが、宮城県以外は100%達成、次回は全県100%にしたい。

【依頼事項】

1. 令和元年度共済加入促進キャンペーンの推進

令和元年度共済加入促進キャンペーンは、例年通り9月1日から翌年3月31日までの期間に予定している。対象となる制度も例年と同じく生命共済、せつび共済、医療・がん共済の3制度である。重点工組のみではなく、全県で共済3制度への加入促進にご協力いただきますよう、よろしくをお願いします。

【協議事項】

1. 組合員加入の促進について

4月1日現在の全国組合員異動状況を確認した。平成30年度は70社加入したが、脱退が213社あり、前年度の期末より143社減少した。今年度は、組合員数純増（平成30年度4工組）および増減ゼロ（同7工組）の工組の割合を増やし、減少率を30年度の▲3.2%から0%に近づけることを数値目標に掲げている。

全印工連では組合員数が対前年比で増加した工組に対する表彰制度を設けているが、組合員加入を進めるとともに、組合のブランド化、価値を伝えることで脱退防止につなげていきたいと思う。どのような方策をとるのが有効なのか、意見・情報交換をした。

まず、宮城県からの質問により、各県の理事会の開催状況を報告したところ、宮城県以外は、定期開催が無いが年間3～5回程度であるということであった。宮城県はほぼ毎月の頻度で開催しており、組合活動の活性化が必要との提言があった。また、各県には組織共済委員会が無いが、有っても主だった活動はできていないという現状に、それぞれ各県で理事会等で、組合員加入促進・共済制度加入促進を担当する部隊の編制を検討すべきではないかの提言に、各県の事情の報告があった。

次回までの活動として、

- ①各県で組合未加入企業リストを作る
- ②組織共済委員会の編制もしくは促進活動チームの検討をする
- ③活動結果の報告

2. 各共済制度加入促進キャンペーンの推進方法

【依頼事項】でお願いしたが、加入促進キャンペーンの意義、

必要性についてよくご理解いただいた上で、より効果的な勧誘方法（実際に共済に加入して保障を受けた事例紹介等）について忌憚のない意見交換をする予定だったが、上記に時間をとられ、協議できなかった。しかしながら、共済制度に加入している組合員自身のメリットに加えて、それにより各県工組への還付金が組合財政に貢献していることも、各県の理事会で再認識していただき、まずは、理事は何らかの加入をするべきではないかと呼びかけるよう勧めた。

【目標】

今年度、全印工連の通常委員会では事業の達成率、成果をより実効性があるものとするため、年間の「数値目標」を設定している。当委員会では以下の2つで、いずれもハードルは高いが、組合の価値を高め、財政基盤の安定化を図るために、英知を結集して一丸となって前進するよう周知した。

1. 「生命共済制度」の全国目標である「組合員数に対する加入率35%」の達成協力加入組合員数の加入率が35%未満の工組においては、35%を目標に、35%以上の工組においては、更なる加入率アップを目標に加入促進をしましょう。
2. 組合員数純増（平成30年度4工組）および増減ゼロ（同7工組）の割合を増やし、減少率を30年度の▲3.2%から0%に近づける。

今後の組合の予定（行事）について

10月2日

第5回常任理事会（組合事務所）

10月18・19・25・26日

印刷営業講座（岩手県青少年会館）

11月1日

盛岡支部ボーリング大会（マツハランド）

11月2日

印刷営業技能審査認定試験（岩手県青少年会館）

11月6日

事業承継セミナーⅡ（岩手県青少年会館）

12月6日

盛岡支部月例会・忘年会（会場未定）

株式会社
インキ
仙台小森

お客様の信頼をかたちにする
大正創業は信頼の証！

「用紙・再生紙値上がり及び供給不足に伴う印刷物発注に関する市町村への要望」について

岩手県知事
達増 拓也 殿

用紙・再生紙の値上がり及び供給不足に伴う印刷物発注に関する要望書

平素は当印刷業界の振興に対し格別のご指導ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、ご高承のとおり、本年一月一日より、製紙各社が、原料燃料価格や物流費の上昇を理由に印刷用紙の値上げを実施し、また、再生紙についても昨年五月以降から生産中止および製品集約を進めるなど入手が困難な状況にあります。

私ども印刷業界では、今回の大幅な用紙値上がり等のコスト吸収は大変厳しいだけでなく、指定の用紙・再生紙の入手が困難な場合、十分な製造責任を果たすことが困難となる恐れもあります。

つきましては、以下二点について要望いたします。

一、今後発注される印刷物について、値上がり分を加味した最新の実勢価格での発注に配慮いただくようお願いいたします。

一、ご指定の用紙・再生紙の入手が困難な場合は代替品を認めていただくなど柔軟な対応をお願いいたします。

なお、「平成三十年度中小企業者に関する国等の契約の基本方針（平成三十年九月七日閣議決定）」では『燃料や原材料等の市況価格の変動が激しい商品等については、特に最新の実勢価格や需給の状況等を考慮するよう努めるものとする。』とされています。

また、環境省がグリーン購入法基本方針における印刷用紙の取り扱いにつき、再生紙が入手困難な場合は代替品の使用を認める措置を講ずることになり、その運用文章を三月二十二日付で各府省庁や独立行政法人等に発出、地方公共団体にも参考送付されました。

岩手県におかれましては、諸事情をご賢察いただきますとともに、この「基本方針」に基づき、格別のご高配を賜りたく、お願い申し上げます。

令和元年五月二十八日

岩手県印刷工業組合

理事長 斎藤 誠

(一社) 日本グラフィックサービス工業会

岩手県支部長 菅原 正行

令和元年5月28日（火）（一社）日本グラフィックサービス工業会岩手県支部と連名の要望書を岩手県に提出し、岩手県から前向きな回答をいただきました。その後、6月末に県から各市町村への指導通達を確認し、7月に一関市・盛岡市を訪問し、同様の要望を実施しました。それぞれ一定の理解をお示しいただき、今後も意見交換を行っていくことを了承いただきました。今回の要望は岩手県議会議員、市議会議員、岩手県中小企業団体中央会様にもご同席、ご協力いただきました。今後、釜石市・滝沢市への要望を予定しています。

【印刷物発注に伴う市町村への要望実施調査】

結果報告

以下の結果により、3事業以上の希望があった盛岡市・一関市・滝沢市・釜石市へ要望を実施します。

- 希望する…………… 17 事業所
- 〈実施希望市町村〉
- 盛岡市…………… 6 事業所
- 一関市・滝沢市・釜石市…………… 3 事業所
- 花巻市・八幡平市・二戸市・宮古市・遠野市・山田町・大槌町・大船渡市・奥州市…………… 2 事業所
- 希望しない…………… 4 事業所
- 未回答…………… 24 事業所



トピックス

SOPTECとうほく 2019

令和元年7月6日(土) サンフェスタ(仙台市) 参加者26名

7月5日・6日の2日間、仙台市で開催された『SOPTECとうほく 2019』の総来場者数は11,300名でした。今年も岩手県北バスをチャーターし、6日(土) 26名が参加しました。



第26・27回 古紙回収

平成31年4月17日(水)に実施された第26回の古紙回収は協力事業所28社、第27回は令和元年7月17日(水)に行われ、協力事業所29社でした。いずれも天気に恵まれ、皆さまのご協力により無事終了することができました。次回は10月16日(水)の予定です。

(株)小森コーポレーション『印刷機械の管理ポイント』セミナー

令和元年8月8日(木) 15:30～17:30、盛岡市のホテルメトロポリタンNEW WINGで開催され、講師は(株)小森コーポレーション PESP事業推進営業技術課の白石徹氏、参加者は23名でした。



メディア・ユニバーサルデザイン(MUD) オープンセミナー開催

令和元年8月28日(水)、マリオス18階181会議室において、MUD協会様とリコージャパン(株)様のご協力により開催されました。

講師にMUD協会理事 小粥将直氏をお招きし、組合員他さまざまな業種から51名が参加しました。また、当日は、同会場に昨年度のMUDコンペ入賞作品の展示を行い、好評のうち終了しました。

印刷営業士認定講座・印刷営業技能審査試験 開催について

本年10月に印刷営業士認定講座および印刷営業技能審査試験を開催いたします。

会場は岩手県青少年会館(盛岡市みたけ)です。詳細は、組合事務局までお問い合わせください。(TEL 019-641-4483)

【講座・試験日程】	1日目	令和元年10月18日(金)	13:00～18:00
	2日目	令和元年10月19日(土)	10:00～17:00
	3日目	令和元年10月25日(金)	13:00～18:00
	4日目	令和元年10月26日(土)	13:00～18:00
	試験日	令和元年11月2日(土)	14:00～16:45

Q.

クイズコーナー

読書の秋にちなみ、今回は少々“文学的”なクイズをば。実在したある人物の氏名を当ててください。岩手県出身者です。ヒントは、明治45年、東京日日新聞に2月1日～17日まで掲載された谷崎潤一郎の「あくび」に登場しています。また、芥川龍之介の「手巾(ハンケチ)」(大正5年『中央公論』10月号)に長谷川謹造先生の名で出てくる東京帝国大学教授法科大学教授であったり、菊池寛の「青木の出京」(大正7年『中央公論』11月号)の中にも登場。久米正雄の短編集『学生時代』(大正7年、新潮社)の中、「母」にも出ていれば、志賀直哉の「鳥取」(昭和4年『改造』元旦号)にも登場しています。さらに、小説家・山本有三が小学校高学年用に編集した教科書『国語五年の二』(昭和27年、日本書籍)にも載っている人です。「昔よりかかるためしのあると聞く 何か惜しまん老が身一つを」。ご本人が詠んだ短歌です。

- 送り先／答え、会社名、氏名をご記入のうえ当組合事務局(当紙表紙に記載)までFAXでご回答下さい。
- 応募締切／令和元年10月31日(木)(当日消印有効)
- 当選発表／景品の発送後、ご本人の承諾を得て次号に掲載
- 個人情報は商品の発送のみに利用します。

今回の景品

コクヨ テープカッター



前回の答え 前回の答えは

「フードマイレージ(食料の輸送距離)」でした。

組合員による厳正なる抽選の結果、当選されたご本人の希望により、氏名の発表はいたしません。おめでとうございます。今回も素敵な景品を準備して、たくさんの応募をお待ちしています。



TOKIWA

豊かな紙 確かなサービス

弊社はFSC® 認証紙を販売し
世界のよりよい森林管理を支援します



責任ある森林管理
のマーク

常盤洋紙株式会社

〒020-0891 岩手県紫波郡矢巾町流通センター南1丁目8-19
TEL (019) 637-2011 FAX (019) 637-2014
本社/仙台 営業所/塩釜・福島・山形・水沢
URL <http://www.tokiwa-pap.co.jp>
TOKIWA PAPER CO., LTD.



Assist Your Potential

— 技術力と創造力で、あなたの可能性を支援する —

日ごとに厳しさを増す、短納期ニーズや品質管理要求に応える印刷の現場。
RMGTの自動化・省力化技術は人を助け、時間と労力を費やす作業を代行
します。そこで生まれる余力こそ、創造性を発揮するエネルギー。

RMGTは、技術力と創造力で、印刷会社それぞれが強みを発揮できるように、
アシストしていきます。

そして、人が中心になって機械や技術を使いこなす世界を目指します。

RMGT リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社

東日本支社 仙台支店

〒983-0034 宮城県仙台市宮城野区扇町4-2-38 TEL 022-237-6210

KODAK SONORA CX
プロセスフリー プレート

**47全都道府県
500社の
導入実績!**



秘められた可能性が、ついに拓かれる。

コダックのサーマル テクノロジーの粋を
結集したUV対応完全無処理CTPプレート
KODAK SONORAが、
さらなる進化を遂げ、新時代の扉を拓く!!

高耐熱性	高耐傷性
メンテナンスフリー	省スペース
素早い刷り出し	優れた視認性
コスト削減	環境対応

完全無処理CTPプレートの進化が、
未来を輝かせる。

コダック ジャパン

東北事業所
〒980-0012
宮城県仙台市青葉区錦町
1-6-5 中村ビル1F
TEL.050-3819-1255
<http://www.kodak.co.jp>



TOYOINKGROUP

Visible Science for Life

私たち東洋インキグループは、
『目に見えるサイエンス』で皆様の生活に貢献いたします。

www.toyoinkgroup.com

東洋インキ東北株式会社
〒981-3206 宮城県仙台市泉区明通3丁目27 Tel: 022-378-5131

PESP

プリントエンジニアリングサービスプロバイダー

KOMORI はお客様の課題を解決するための
多種多様な提案を積極的に行い、
信頼される
「プリントエンジニアリングサービスプロバイダー」
となることを目指し、
お客様とともに進化しつづけます。

Offset



K-Supply



Digital



Postpress



株式会社 小森コーポレーション

東北営業所 〒984-0822 宮城県仙台市若林区かすみ町8-54 TEL.022-282-8851

KOMORI

ー 地域の皆様と共に歩んで380年 ー
時代のニーズにお応えして

“今日と明日を結ぶ,,

事務用品
OA機器
オフィス家具
和洋紙

KIZYA

木津屋本店

盛岡市南大通2丁目3番20号
電話 ■ 盛岡019(638)4337代表

長代商店は皆様の産業廃棄物の処理に
誠意をもってお手伝い申し上げます。

*現像廃液・定着廃液及び古フィルム、廃油、洗浄液の処理を御用命下さい。

長代商店

〒028-7801 岩手県久慈市侍浜町堀切11-136-5
TEL 0194-58-3833 FAX 0194-58-3057

折込広告

毎日が新しい
コミュニケーション



株式会社 岩手読売IS

本社：〒020-0836 盛岡市津田西一丁目23番8号
TEL.019-635-5866 FAX.019-635-5857
県南営業所：〒023-0001 奥州市水沢卸町4-10
TEL.0197-25-3277 FAX.0197-24-4788

URL <http://www.iyoc.co.jp>

情報文化のパートナー
社会に貢献出来る会社を目指して

株式会社 黄 海 製 本

代表取締役社長 柴田政夫

〒983-0034 仙台市宮城野区扇町1丁目1-48
TEL022(235)5004(代) FAX(236)9206

良い品を迅速に
お届けいたします

株式会社 佐々木紙店

奥州市水沢区龍ヶ馬場1-1 TEL 0197(24)6566(代表)
FAX 0197(24)6568
パッケージプラザサキ TEL 0197(23)4321(袋町店)

NEXT WAVE 新たな挑戦 ー変わるために ー
変わら続けるー

KOBUNDO

フィニッシングソリューション
KBD MOLLシステム
FOLDER/GLUER/INSERTING/TAPING

製袋・グルーシステム・紙折
全ての加工機能を一に統合した、
画期的なソリューションシステム、誕生!

ボトルパッケージ、ポケットホルダー、
封筒、ルームキーカードホルダー、
小冊子パッケージ、CDスリーブなど
様々な形状のパッケージの加工が可能に!

印刷機材の総合商社 株式会社 光 文 堂 東北支店
〒984-0003 仙台市若林区六丁目の目北町4番30号
TEL(022)287-3711 FAX(022)287-3710

本店/〒460-0022 名古屋市中区金山二丁目15番18号 TEL 052(331)4111(代)
支社/東京 支店/東北・静岡・大阪・金沢・北九州・福岡 営業所/北海道・青森
山形・千葉・山梨・沼津・浜松・岐阜・福井・富山・京都・山口・大分・熊本・沖縄

<http://www.kobundo.co.jp>

SCREEN

Digital Everywhere!

自動化で世界が変わる。SCREENが変える。



株式会社 SCREEN GP ジャパン

東北営業所/022(224)1741

〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉一丁目5-15 日本生命仙台台当勾台南ビル3階

www.screen-gpj.co.jp

世界を変えるアイデアは
一枚の紙から生まれる。



株式会社 赤澤紙業

本社 盛岡市みたけ二丁目22番50号 ☎019-641-1081
支店 仙台市若林区卸町二丁目12番11号 ☎022-235-4251



インバウンド対応情報発信ツール

MC Catalog+

エムシー カタログ プラス

観光ガイドや広報紙、展示案内など、あらゆるコンテンツを
多言語化し、スマートフォンやタブレット端末に向けて、配信
するクラウドサービスです。

詳しくは

エムシーカタログ



www.morisawa.co.jp

モリサワ

印刷加工のエキスパートを目指します

有限会社 **オリエントコーティング**

〒984-0002 仙台市若林区卸町東二丁目1番30号
TEL(022)788-2960(代) **オンデマンド印刷のPP貼も出来ます**
FAX(022)788-2965 **4/6半裁ハイドル自動抜機設備しました**
E-mail:orient-c@abelia.ocn.ne.jp

【営業品目】

- PP貼(ツヤ・マット)・ホログラム
- 断裁・仕上げ・スジ押加工・角丸仕上げ
- 貼函用フィルム
- 圧着加工
- 下敷加工(硬質塩ビ・硬質PET)
- PPによる圧着(2つ折・Z折)
- 断裁・角丸仕上げ
- のりによる圧着(2つ折・Z折・6巻折・2折×3折)
- パウチ加工
- 折加工
- レストランメニュー・メニュー製本
- 特殊折(両観音折・ジャバラ12山谷・経本折)
- 裏スリット
- ※その他特殊折できます。
- タック紙のセパレータにスリット加工・タック紙販売
- 型抜加工
- ハイドル4/6半裁全自動抜・ビク抜

身近な朝の情報
折込広告

岩手日報アド・ブランチ 株式会社

本社 盛岡市みたけ一丁目6-40 TEL019-641-6711
県南センター／花巻市西宮野目12-62-9 TEL0198-30-1919
いのへセンター／二戸市福岡字八幡下18-4 TEL0195-22-1122



KONICA MINOLTA

Giving Shape to Ideas

印刷現場の生産性向上と
働き方改革を支援

インテリジェントクオリティオブティマイザー IQ-501

印刷生産工程で手間と人手がかかっている課題に

業界初 「リアルタイム自動検品機能」
で応えます。

※IQ-501はAccurioPressに装着可能なオプションです。(C6100は標準装備)
※リアルタイム自動検品機能はIQ-501の他に追加でオプションが必要です。



Intelligent
Quality Optimiser

商品紹介はこちら



コニカミノルタ ジャパン株式会社 PPG営業統括部 東北営業グループ
〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町1-2-25 仙台NSビル2F TEL.022-722-2265

株式会社

田澤洋紙店

本店 ■〒020-0816 盛岡市中野二丁目15番8号
TEL019(624)3355(代)
FAX019(622)7655

八戸営業所 ■〒031-0071 八戸市沼館一丁目20番9号
TEL0178(45)4561(代)
FAX0178(43)7501

**GREEN
GRAPHIC
PROJECT**

FUJIFILM
Value from Innovation

富士フイルムは、「カーボン・オフセット制度」の活用により、『SUPERIA 完全無処理サーマルCTPプレート』のCO₂排出量を全量オフセットし「カーボンゼロ化」する『Green Graphic Project』を開始しました。

詳細はHPでご覧になれます。

Q 富士フイルム GGP

で、検索。



富士フイルム グローバルグラフィックシステムズ株式会社 ホームページ http://fjgs.fujifilm.co.jp
東北支店 〒983-0869 仙台市宮城野区鉄砲町西1番地の14 富士フイルム仙台ビル TEL:022(282)6511
FFGSグラフィックサプライ株式会社 ホームページ http://fjgs.fujifilm.co.jp FFGSG 検索
盛岡営業所 〒020-0811 岩手県盛岡市川目町23番地4号 TEL:019-623-2100 FAX:019-623-2150